

令和2年度 学校評価アンケート（教員） 集約結果

令和2年12月実施 教員10人

- 1 新型コロナウイルス感染症への対策（三密の回避等）を適切に講じ、教育活動に当たる。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
6人	4人	0人	0人
AとBの合計 = 10人（全体の100%）			

- 2 安全管理・事故防止を徹底し、安全でよりよい学習環境をつくる。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
5人	4人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 3 個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用、見直しを図り、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
8人	1人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 4 将来の自立と社会参加に向け、キャリア教育の視点からの教育を行う。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
6人	3人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 5 学校研究の取組、研修会への参加等により、教員の専門性の向上を図る。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
3人	5人	2人	0人
AとBの合計 = 8人（全体の80%）			

- 6 育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえた目標設定、3つの観点による学習評価を実践し、授業改善及び教育課程編成に反映させる。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
6人	3人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 7 外部資源（地域人材等）を活用した授業づくりを推進する。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
6人	3人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 8 家庭や関係機関との連携を図り、適切な支援につなげていくとともに、地域の特別支援学校としてセンター的機能の充実に努める。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
7人	2人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			

- 9 チーム山形校として、全職員が学校経営・学部経営等に積極的に参画し、協働的な校務運営に努める。

A（良い）	B（ほぼ良い）	C（やや改善）	D（要改善）
6人	3人	1人	0人
AとBの合計 = 9人（全体の90%）			